叶え合う支援

どなたでも参加OK

社会問題タラレバ会議 vol.04

「もし、地域に【1時間だけ頼れる場所】があったら？」

今回のタラレバ会議では、制度や誰かの善意だけでは支えきれない暮らしを、地域でどうケアし、ケアする人たちをどう支えていけるかを考えます。ある人の暮らしは、制度を利用しながらも、その支援を担う施設の大きな善意に支えられていますが、関わる人たちの負担も大きくなっています。専門職でなくても「自分にできる範囲」で関われる仕組みや、「ちょっと見てるよ」「ここにいていいよ」という小さな受け皿が地域に生まれたら。本人の暮らしを支え、ケアする人も孤立させない。そんな地域の可能性を一緒につくる会議です。

2026 11/29(土)
14:00-16:00（受付13:30から）

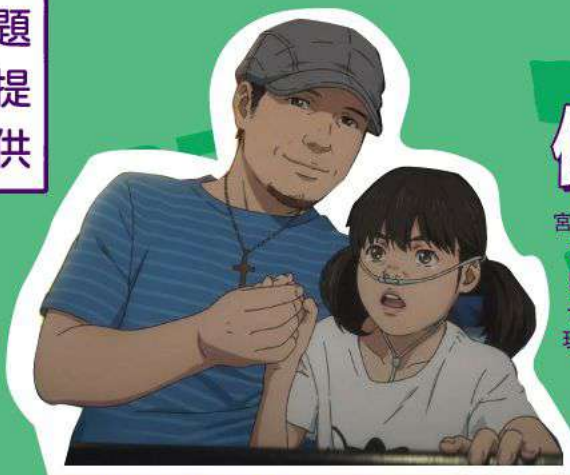
会場
特別養護老人ホーム アートフェリス
埼玉県草加市松原１丁目8-15



社会問題タラレバ会議 vol.04

社会問題タラレバ会議は、社会問題を「正しさ」や「専門性」だけで語るのではなく、「こうだったらいいのに」「こんなことできないかな？」という“タラレバ”から考える対話の場です。支援する側・される側、専門職・地域の人など、立場を超えて集まり、それぞれの「得意」や「資源」を持ち寄り、「まちの力」で小さく試せるアイデアや新しい関わり方を考えていきます。完璧な解決策を目指すのではなく、雑談や妄想、おせっかいから生まれる“小さな叶え合い”を大切にする場です。

話題提供



佐藤 裕二 SATOU YUJI

住宅型有料老人ホーム
ReHOPE草加松原　施設長

宮城県出身（現在、茨城県在住）の51歳、看護師。
大学２年の男の子と３年前に亡くなった女の子の父。
陸上自衛隊勤務を経て無資格で介護の道へ。27歳に看護師免許取得。
その後は、200床～500床未満の急性期病棟で看護師として従事。
現在は、ReHOPE草加松原の施設長を務める。

得意分野：消化器、呼吸器、整形、脳神経外科（10年前から管理業務メイン）
免許：ガス、アーク溶接、危険物取扱者乙種4類、大型自動車、普通自動車
中型自動二輪。看護師、認定看護師教育課程セカンドレベル終了。
特技：球技全般（サッカーは苦手）、ボクシング。
趣味：飲酒（酒癖は悪くありません）
性格：大雑把だけどきれい好き、他人に厳しく自分に甘い。サバサバしてます。

聞き手

白河部 りつ子
一言：１人のやりたいを叶えるロマンチスト♥
草加市社会福祉協議会



茂呂 史生
一言：福祉はまちづくり
株式会社ひいらぎ 会長



「叶え合う支援事業」とは、個人や組織・団体、コミュニティなどがつながり合い、地域全体で支え合う関係性をみんなでつくっていくためのプロジェクト。「する・される」という一方的な関係性ではなく、お互いの願いや思いを「叶え合う」ような、対話的で創造的なプラットフォームを目指しています。

叶え合う支援とは？

参加申込はこちらから

先着順となります。定員(60名)に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

〈お問合せ〉
tel/048-922-1024（草加市 福祉政策課 池田）
mail/teppei@hang-over.co.jp
（ハングオーバー株式会社 岩渕）

主催/草加市
企画運営/Soka Fukushi Consortium（SFC）
※詳細は草加市サイトでご確認ください。